お知らせ

▶二月三日は節分

今月は省エネ月間です

二月は「省エネルギー月間」です。エネルギーのむだを省きできる限り効率的に使う――省エネは知恵と努力と心掛けによる〝純国産エネルギー〟ともいえます。

「もう一歩進めませんか、冬の省エネ」――この機会にいま一度、暮らしの中の省エネについて考えてみたいものです。

大館市奨学資金の貸与について

経済的理由で修学困難な方に対して次により奨学資金を貸与します。

貸与額・月２万円（卒業まで）
条　件・市民の子弟で、２年以上在学中の方。返済は無利子で卒業後６カ月据え置きの８年償還。
人　員・若干名
受　付・４月10日まで
申　込・教育委員会学校教育課
☎49～3111内線253

大館郵便局が新局舎で業務開始

大館市字中城十二番地の三（裁判所隣り）に建築中だった大館郵便局新局舎がこのほど完成し、今月二十二日から業務を開始します。そこで、現局舎での業務取り扱いは次のようになりますので、ご了承願います。

▼貯金・保険関係
２月20日の正午まで

▼郵便関係
２月21日の正午まで

なお、２月21日正午以降の速達郵便物などの引き受け業務は新局舎で行います。

〝わが家の家計簿〟体験談募集

家計簿を通じて体験し、感じたことを、次の要綱でお送りください。

原　稿・四百字詰原稿用紙五枚以内で、氏名、住所、職業、年齢、電話番号、家族一覧、家計簿記帳年数を記入、また封筒には「家計簿体験談」と明記してください。
締　切・２月末日
入　選・
特選　５編　賞金各５万円
秀作　10〃　〃　３万円
佳作　35〃　〃　１万円
※応募者全員に昭和58年用「明るい生活の家計簿」をさしあげます。発表は６月、入選者には直接通知するほか、新聞、テレビ、ラジオで発表します。
送り先・秋田市大町２～３～35　日銀秋田支店内「秋田県貯蓄推進委員会」
☎0188～62～5671

住民登録

１月１日　現在
（　）内は前月比
人　口・72，976（＋39）
男　34，931
女　38，045
世帯数・21，397（＋26）

所得税・贈与税の申告始まる

贈与税の申告は二月一日から所得税の確定申告は二月十六日から、それぞれ受け付けが始まります。どちらも申告期限は三月十五日ですが、期限間近になると税務署は大変混雑しますので、申告はできるだけ早く済ませるようにしてください。

五十七年度の訓練生募集

＜普通訓練課程・二年＞
▼科目と定員
金属工芸（19名）、機械（10名）、電気機械（18名）、自動車整備（８名）、ブロック建築（18名）、木工科（17名）
▼受験資格
新規学卒者またはこれと同等以上の方
▼募集期間　２月４日まで
▼選考日時　２月８日午前９時
＜能力再開発訓練課程・一年＞
▼科目と定員
金属工芸、機械、自動車整備、ブロック建築、木工科（各10名）
▼受験資格
転職、転業などを希望する方
▼応募手続
入校願書（健康診断書含む）を公共職業安定所へ提出してください。願書は職業訓練校及び公共職業安定所にあります。
▼募集期間　５月20日まで
▼問い合せ
公共職業安定所または秋田総合高等職業訓練校（☎42～5700）へお問い合せください。

うまい秋田米提供店制度

旅館、ホテル、食堂などを開業している方へ「うまい秋田米提供店制度」についてお知らせします。この制度は、お客様にうまい秋田米を食べていただこうという運動で、次の条件に合った場合、申請によって看板を交付します。

＜条件＞
・米の消費拡大に積極的である
・過去六カ月以上全量上米または中米を使用し（米穀店の証明書）今後も使用すること。
・炊事方法、料理の工夫に努力していること。

＜申込及び問合せ＞
農林課農業経営係
☎49～3111　内線294

公民館の窓

◆市民ホールができました
中央公民館に市民ホールができました。
これは、日ごろ会議、サークル、集会などで公民館を利用されている皆さんが、バス時間で早く来た時や昼休み、仲間との待ち合せに新聞やテレビなどを見ながら、ゆっくりとくつろいでいただこうと設置したものです。どうぞお気軽にご利用ください。

◆子ども会リーダー研修会
と　き・２月２０日～２１日
ところ・大館少年自然の家
対　象・各町内子ども会の小学生（４年生以上）のリーダー２名以内で、子ども会共済に加入している町内
定　員・１００名
申　込・各町内の世話人がとりまとめのうえ参加費（１人1,200円）を添え２月１５日まで中央公民館に申し込んでください。
持ち物・スキー用具、内ズック、洗面具ほか
内　容・スキー指導、団体生活指導、講義
問合せ・中央公民館　☎４２～４３６９

児童育成ボランティア養成講座

児童の健全育成活動を推進するための指導者及びボランティアの養成のため、全５回にわたって次の日程で講座を開講します。お気軽に受講ください。

＜と　き＞	＜学習課題＞
２月１５日(月)	子どもの成長と理解(講義)
１９日(金)	けがや急病の救護法(実技)
２２日(月)	手づくり玩具　（〃）
２６日(金)	読書指導　（講義と実技）
３月１２日(金)	子どもの遊びの指導（〃）

時　間・いずれも午前１０時～１２時
会　場・勤労青少年ホーム
対　象・市内に住む２０歳以上の方
受講料・無料
申　込・市教育委員会社会教育課
☎４９～３１１１　内線２５５
教育委員会備付けの申込書または電話で申し込みください。

図書館をもっと身近に、暮らしの中に

＜図書館からのご案内＞

ご存知ですか？図書館ではこんなことも行っています。

◆**読書相談**　読みたい本、こんなことの本を見たい、調べたい等の文献や資料の相談、手助けに応じています。

◆**参考調査事務**（レファレンス）
日常生活又は仕事上で、解らないことや調べたいことがあるときは、係員へ申し出てください。お問い合せは直接又は郵便や電話でも構いません。図書館の資料と機能によって皆さんに代って調査の上、できるだけ迅速にお知らせ(解答)したいと思います
（例）唐招提寺新宝蔵と大原美術館の住所と創設年及び特徴を知りたい。
※ただし、学校の宿題、クイズ、身上相談、骨董美術品の鑑査等には応じかねます。

◆**コピーサービス**　図書館の資料に限って、保存上特に支障のないものは著作権法に触れない範囲内でコピー(30円)してあげます。

図書館コーナー

＜図書館の本を借りるには＞

市立図書館は市民の皆さんのものです。図書館には新刊図書が続々入っています。受入分類、整理、配架、貸出等は県内随一の事務処理と自負しています

◆**小学生以上の**市民なら誰でも、簡単な手続きで１人３冊以内、２週間借りられます。最初の方はまず登録してください。登録票へ住所、氏名を記入し、住所を確認できるもの（名札、身分証明書免許証など……印鑑は不要）をお見せください。登録が済みしだい、すぐに借りられます。

◆**開館時間**　（冬期間・11月～３月）
日～金曜日　午前９時30分～午後４時45分
土曜日　午前９時30分～午後０時15分

◆**休館日**
第３日曜日、土曜日の午後、祝日、毎月第４木曜日（館内整理休館）そのほか館長の必要と認める日

市立図書館　☎42―2525

市立図書館は市民の書斎です。本のご利用はすべて無料です。どなたでもお気軽にご利用ください。

心に残る一冊の本

大塚辰子（御成町二丁目）

前に、渡部昇一著「知的生活の方法」の中で、「あなたは繰りかえして読む本を何冊ぐらい持っているだろうか」との問いに、日ごろの乱読、積読を大いに反省したにもかかわらず、今また、「一冊の本は?」と聞かれ困惑しております。

暗誦するまでいかなくても、あるセンテンスが会話の中にとび出してくる程、のめり込んで繰りかえし精読した本は、まだありません。昨今の、出版物の洪水に流されず、今度こそ、もっとじっくり落着いた読書を心がけたいと思います。

うちでは子供達の方がそれぞれ憧れ込んだ本を持っています。「りこうなおきさき」や「ドコカの国へようこそ」「とこちゃんはどこ」「まっくろネリノ」です。

私は子供の頃ほとんど読まなかったのですが、思い出の、ちょっと気になる本が一冊あるのです。戦後の何もない、小学３年のころ友達から借りて読んだ、確か「絹糸のぞうり」という少女小説です。作者も内容も忘れましたが、それを読んで涙が止まらず、家の人に見つかると恥しいので、押入れに入って読んだうす暗い光景、大火前の古い家の様子が目に浮びます。吉屋信子作では?と思うのですが、三十年ぶりのこの初恋の本に、会いたいような、会いたくないような思いで、今まで探さないでいましたが、この機会に探してみようかなと思います。貸してくれた同級生太田はるみさんは、ハワイに在住とか、この本の事、覚えていらっしゃるでしょうか、会いたいです。